

# ひまわり

# 1

**2023  
JAN**

## もくじ

- 2 情勢 2023年の幕開けに
- 3 集まろう つながろうフェスタ2022  
ご来場ありがとうございました!
- 4 まるまるマルシェ&のうふうマルシェ  
～雑貨とお野菜とお菓子と絵本  
「マルシェを通じて広がった交流  
～たくさんの方にお立ち寄りいただきました!」
- 5 きょうされん 第46次国会請願署名・募金運動に  
ご協力をお願いします!!
- 6 ちょっと聞いてよ! 第42回・時・ご寄付

今月号の表紙写真: かめおか作業所(安居由香利さん<sup>Ⓔ</sup>)  
今年度は日帰り旅行におでかけしました。「久しぶりの旅行で、みんなとお出かけできて楽しかったです!」

## 社会福祉法人 亀岡福祉会

○法人本部: 〒621-0033 京都府亀岡市蕨田野町佐伯大門30-1  
TEL: 0771-24-2596 FAX: 0771-24-2597  
HP <http://www.kamecomyu.net/>



## 西村 直

TADASHI NISHIMURA

社会福祉法人 亀岡福祉会  
理事長

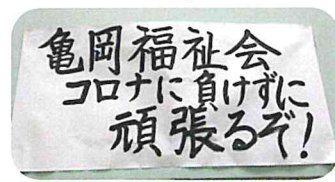
## 2023年の幕開けに

2023年の幕明け、心からお喜び申し上げます。

旧年中にいただきました心あたたまるご支援に感謝すると共に、今年も変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。「第6波が目の前に・・・」

「オミクロンウイルス？」新しい年の始まりを心から喜べず、気分が晴れないまま迎えた昨年のお正月、2年連続でした。今年こそ心から祝えるお正月をと思いきや・・・「次々と続く感染」「第8波か？」

不安な気持ちを隠せません。かめおか作業所玄閣の壁には「亀岡福祉会 コロナに負けず頑張るぞ！」と利用者の「書」が輝いています。



## 横たわるいくつかの問題

昨年はコロナ感染症に振り回されただけではなく、今までに経験したことのないようないろいろなことが起こった1年でした。その背景には社会福祉法人亀岡福祉会(以下「亀岡福祉会」)だけでは乗り越えられないいくつかの

問題が横たわっているように思います。1つは利用者、家族の高齢化、二つは地域の障害者を支える社会資源の質と量の課題、もう一つは慢性的な「働き手不足」の実態です。世の中の動きに目を向けると、昨年2月に始まったロシアによるウクライナ侵攻、許しがたい蛮行が今も続いています。その影響も受けた急激な物価高騰などが利用者、家族の生活と事業運営を直撃し深刻です。

## 後押しするいくつかの動き

一方で、私たちの福祉事業の推進を後押しするいくつかの動きもありました。日本も批准した障害者権利条約に基づいて、日本の障害者施策の現状評価を権利委員会が行い数々の改善指摘がされました(総括所見)。今後、国はこれらの指摘を正面から受け止めひとつずつ改善に着手していくことが求められます。亀岡福祉会の近未来を描いた「亀岡福祉会ビジョン2025」で計画した新生活介護の新施設建設については建設用地の賃借、建設の受け入れ等に亀岡市行政をはじめ宮前町長、

宮川財産区の全面的な理解と協力を得て国への補助金申請ができました。何としても補助金交付の決定がされることを期待しています。まだ続くコロナ禍でしたが、二年ぶりの「市民まつり」を「元氣ですか？集まろう つながろうフェスタ」と題して開催することができました。またこの2年間行けなかった旅行も、日帰りでしたが行うことができ、たくさん笑顔があふれました。インターネットを使った集いや研修など、顔を合わせて元氣を確かめ合うこともできました。

## あたりまえに働き

## えらべるくらしを

2023年コロナ感染症防止には気を緩めることなく続けながら、障害のある人たちの願いに応える取り組みをいっそう発展させていく決意です。「何よりも命を守る社会」、「平和と人権が大切にされる社会」をめざし、「あたりまえに働き、えらべるくらしを」の願いを一步、二歩前に進める年になるよう一步を踏み出しました。今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



# 元気ですか？ つながろうフェスタ2022 集まろう ご来場ありがとうございました！



障害のある人も障害のない人も、ともに楽しい1日を過ごし、出会いやつながりを通して「ともに地域で暮らす」を感じていただく場として毎年ハートフェスタを開催してきました。しかし、コロナウイルスの感染拡大のため、過去2年間は開催を中止せざるを得ませんでした。



ワクチン接種が進み、行動制限も少しずつ緩和され、WIT Hコロナの生活様式が少しずつはじまっていること、メンバーの元気な姿を地域の方々にみていただく機会を作りたい、などの思いから、例年とくらべ規模も縮小し、障害のある人の元気な姿や私たちの願いや思いを知っていただく場、なにより地域の皆さまと交流する場として、名称も『元気ですか？ 集まろう つながろうフェスタ2022』に変更して亀岡福祉会単独で開催しました。



当日は、主催者として見込んでいた来場者の人数を大きく上回る方々にお越しいただき、メンバーの元気な姿を見ていただくことができました。「楽しみにしていました」「以前もよく来ていたんですよ」とたくさんのお言葉をいただき、改めて今まで積み上げてきたハートフェスタの意味、成果を実感しました。



↓会場内のお店を見て回り楽しみました(写真⑤)  
↑今年はステージを作らず、体育館前のスペースを使って、各事業所が発表しました(写真⑥上から3枚)  
↑最後はみんなで「この街に生きて」を歌いました(写真⑥一番下)

